# 日本材料強度学会誌 第45巻 4号

# 目 次

## 原著論文

	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> -CaO-MgO-Na <sub>2</sub> O-K <sub>2</sub> O 系ガラスの易強化性	
••••		61
	総 目 次	69
	会報	
I.	本会業務運営について	70
II.	日本材料強度学会平成 23 年度総会及び学術講演会申込締切の	
	延長について	71
III.	本会出版物案内 ·····	71
	「延性一脆性遷移温度域での脆性破壊靭性標準試験法」	
		71
	「応力腐蝕割れ標準試験法」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	72
	著書紹介	
「材料	強度と破壊学―創造的発展と応用―」	72
	ニ ュ ー ス	
関連引	学協会開催案内	73
日本村	材料強度学会誌投稿規定	74
	材料強度学会誌論文投稿カード	
Streng	gth, Fracture and Complexity, An International Journal への投稿案内	76
会員均	曽強運動についてのご協力ご依頼	78

## 総 目 次

## 日本材料強度学会誌 第 45 巻 1 号—4 号 (2011.5 月号—2012.3 月号)

第1号(2010年3月号) 原著論文 EBSD 法による IN738LC 切欠き材のクリープ損傷評価 小林大輔, 宮部正道, 鍵谷幸生, 南雲佳子, ····· 杉浦隆次, 松崎 隆, 横堀壽光···· 1 第2号(2011年10月号) 原著論文 ボルト締結された自動車用鋼板の衝撃引抜き破断 臺丸谷政志, 藤木裕行, 申 亨燮, 小林秀敏, ······ 永井克巳, 上田誠弥···· 19 第3号(2012年1月号) 原著論文 反力試験法によるガラス強度測定 ······ 荒谷眞一, 近江 伸, 西 瑞樹···· 41 第4号(2012年3月号) 原著論文 SiO<sub>2</sub>-Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>-CaO-MgO-Na<sub>2</sub>O-K<sub>2</sub>O 系ガラスの易強化性 

### 【会報】

## I. 本会業務運営について

(1) 学会誌印刷

〒 984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 8-45 笹氣出版印刷株式会社 (以上従来通り)

ただし、会誌原稿投稿先:

**=** 980-8579

仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01 東北大学大学院工学研究科ナノメカニクス専攻気付 日本材料強度学会

(2) 会費請求と徴収関係

笹氣出版印刷株式会社(住所(1)記載)TEL(022) 288-5555, FAX(022) 288-5551担当 中 野 範 明,木 村 まさ江

(3) 講演論文集等会誌等の出版物は下記の通りです。

振込先:七十七銀行六丁目支店

口座番号: 5286417

口座名:日本材料強度学会 会長 横堀武夫

(4) 学会のホームページが出来ました。

URL: http://www.zairyou-kyoudo.jp

## II. 日本材料強度学会平成 23 年度総会及び学術講演会講演申込締切の延長について

平成23年度総会及び学術講平成23年度総会及び学術講演会を下記の通り開催します。ふるってご出席下さい。

- ○日 時: 平成24年6月21日(木)
- ○会 場:東京都千代田区神田1丁目3 島津製作所東京支社会議室
- ○講演申込締切:平成24年4月27日(金)までに延長しました。
- ○前刷原稿締切:平成24年5月14日(月)
- ○申込方法:はがきに「日本材料強度学会平成23年度総会学術講演申込み」と題記し、(1)題目,
  - (2) 所要時間 15 分, (3) スライド使用の有無, (4) 氏名(連名の場合は登壇者に"印),
  - (5) 勤務先、電話番号等を記入。
- ○前刷原稿:図表を含めて原稿用紙4枚以内(用紙B5ないしA4を使用し,ワープロして下さい)。 オフセット印刷します。
- ○申込先:〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01 東北大学大学院工学研究科ナノメカニクス専攻気付 日本材料強度学会宛
- ○本講演論文集(前刷集)は、国外からも毎年多数購読の申込みがありますので、ふるって応募下さい。
- ○なお、当日午後は、学振先端材料強度 129 委員会との共催によるシンポジウムを開催いたします。

## III. 本会出版物案内

「延性一脆性遷移温度域での

脆性破壊靱性標準試験法|

一 日本学術振興会第 129 委員会基準 — 日本学術振興会第 129 委員会編

申込先:日本材料強度学会(笹氣出版印刷株式会社 FAX 022-288-5551)

総 104 頁, 定価 7,000 円, 送料 500 円

タービンローター、化学工業、原子力関係圧力容器、 橋梁など大型機械・構造物をはじめとする各種機器においては、延性破壊から脆性破壊への遷移温度領域での脆性破壊防止が重要な問題となっている。そこで、遷移温度領域での破壊報性の正確な評価が不可欠である。しかるに、これら構造物としての大型鋼材そのものの破壊報性を実験的に求めることは容易なことではなく、しかも、実験値のばらつきも大きいので、その評価は困難である。したがって、遷移温度領域において小型の試験片を用いて、これら実用される条件での大形材の破壊報性を、できるだけ高い精度で評価することができるような試験方法の開発が緊要となっている。他方、この方法は工業上は標準化(規格化)されることが必要である。そのためには、標準試験法は明確な科学・工業的基盤にたって、しかもできるだけ簡単で手軽なことが必要である。 このような背景から、日本学術振興会第 129 委員会においては、延性-脆性遷移温度域での脆性破壊靱性標準試験法のガイドライン(基準の原案)を作成し、1983年に ASTMA470 ローター材を用いて、共通試験(round robin test)を開始した。1985年に、この共同研究(第 I期)は終了し、その試験成果に関して数回にわたって本委員会主催のシンポジウムを開催し、報告・討議が行われた。その結果、本ガイドラインの修正が行われた。ついで、このガイドラインにしたがって、1988年から1991年にわたって別の材料として ASTMA508C1.3 鋼(原子炉用)を用いて共通試験(第 II 期第 1 回)が行われた。その後、本提案の試験法の有効性と適用範囲の確認のために、さらに1992年から1993年にわたって共通試験(第 II 期第 2 回)を行った。

その間、米国 MPC (Material Properties Council) からの関心の的となり、1988 年から USA, UK, ドイツの参加による共通試験、共同研究も行われたことは意義深いものである。

以上の結果、本委員会の共同研究によって得られた日本側の成果を主体として、延性 - 脆性遷移温度域での脆性破壊靱性標準試験法が制定された。これらの成果をまとめたものが本書である。

本法にとり込まれた考え方は、鋼材に限らず、種々の 材料に対しても広く参考になるものと考える。

#### 「応力腐蝕割れ標準試験法」

日本学術振興会 129 委員会(強度と疲労委員会)が 10年以上にわたって行った、産学共同の Round Rolin Test などによる応力腐蝕割れ試験法の標準化に関する 共同研究の成果をとりまとめ、その解説を含めて刊行し ました。きわめて好評を得ておりますので、希望者は、 下記宛お申込み下さい。

著 者:日本学術振興会第129委員会編

申込先:日本材料強度学会(笹氣出版印刷株式会社

FAX 022-288-5551)

A5 判, 活版印刷, 総ページ数 90 頁

定 価: 6,000 円, 送料 500 円

#### 【著書紹介】

## 「材料強度と破壊学 ----創造的発展と応用 -----|

日本学術振興会先端材料強度第 129 委員会編申込先: 笹氣出版印刷株式会社

FAX 022-288-5551

308 ページ

定価 5,000 円 (本体)

材料の強度と破壊の研究においては戦略的ないし実用としての意義が重要である。破壊現象や機構の解明といった基本的な面と、実際の姿において実用条件下での破壊に対応した面との二つの面の存在を認識し、前者の研究と言えども後者への結びつきを念頭に置かねばならない。

他方、破壊の研究は古くて新しい問題とも言われているが、破壊のように複雑な問題解決のためには、如何なる概念(Concept)、方法論(Methodology)が必要であるかを十分に検討する必要がある。

編著者横堀武夫教授は材料強度学なる名称のもとに、従来のparadigmとは異なる概念・方法論・成果・意義を提出してきた。本書ではその後にトーマス・クーンの「科学革命の構造」なる科学哲学との出会いを機会に、創造的発展との関連において体系化を試みている。その道すがら破壊の確率過程論や、いわゆる破壊力学の誤解や盲点にも回答を与えている。

## 【ニュース】

## 関連学協会開催案内

## 第 46 回 X 線材料強度に関するシンポジウム

主 催:日本材料学会

協 賛:本会ほか19学協会

日 時:2012年7月5日(木) 9:30~17:00

7月6日(金) 9:30~17:00

場 所:日本材料学会

京都市左京区吉田泉殿町 1-101

Tel. 075-761-5321

#### 第16回初心者のための疲労設計講習会

主 催:日本材料学会

共 催:日本材料学会関西支部

協 賛:(予定)本会ほか27学協会

日 時:2012年8月6日(月) 9:20~17:20

2012年8月7日(火) 9:20~17:30

場 所:(株)島津製作所関西支社(予定)

大阪市北区芝田 1-1-4

阪急ターミナル 14 階 マルチホール

#### 第17回初心者のための疲労設計講習会

主 催:日本材料学会

共 催:日本材料学会関東支部

協 賛:(予定)本会ほか27学協会

日 時: 2012年9月5日(水) 9:00~17:00

9月6日(木) 9:00~17:00

場 所: 上智大学 四ツ谷キャンパス 11号館4階411

東京都千代田区紀尾井町 7-1

#### 第31回疲労シンポジウム

主 催:日本材料学会

協 賛: (予定) 本会ほか 26 学協会

日 時: 2012年11月20日(火), 21日(水) 場 所: 慶應義塾大学日吉キャンパス 来住舎

神奈川県横浜市北区日吉 4-1-1

#### 第 56 回材料工学連合講演会

主 催:日本学術会議材料工学委員会 共 催:(予定)本会ほか41学協会

日 時: 2012年10月29日(月) 9:00~17:00(仮)

10月30日(火) 9:00~17:00(仮)

場 所:京都テルサ

京都市南区東九条下殿田町70

## 日本材料強度学会誌投稿規定

#### 1. 投稿資格

投稿原稿の著者(連名の場合は1名以上)は日本材料強度学会の会員でなければならない。

#### 2. 投稿原稿

- 2-1 投稿原稿は研究論文、研究速報のいずれかとする。
- 2-2 研究論文は材料強度および破壊に関する諸 分野における理論、実験ならびに技術に関す る未発表の原著論文とする。

研究速報は顕著な結果,新しい方法などに ついて速報を目的とするもの。

#### 3. 執筆要領

- 3-1 研究論文の原稿には目的,方法および結果 を明記した英文の概要(500 語以内)を付し, 英文概要,図,写真および表を含めた論文の 長さは原則として会誌8頁程度(図表を含め 400 字原稿用紙を用い,約30 枚程度)とする。
- 3-2 用語は原則として和文とし、原稿は内容を 正確かつ簡潔に表現したものとする。

和文原稿は 400 字詰原稿用紙を用い口語体 横書きとし、英文原稿は A4 タイプ用紙にダ ブルスペースにタイプしたものとする。

- 3-3 原稿には著者が研究を行った場所および現在所属する研究機関名(和文および英文)を注記する。
  - (例) 東京大学大学院, 現在新日本製鉄東京研究所

(Graduate School, University of Tokyo, Tokyo; Present address; Tokyo Research Laboratory Shinnippon Steel Co.)

- 3-4 本文の章, 節, 項に相当する見出しには, それぞれ1, 1.1, 1.1.1 のような番号を付す。 これらはそれぞれの行の第1コマ, 第2コマ, 第3コマより書くものとする。
- 3-5 数式には, (1), (2), …, のように番号を付し, 文中では, (1)式, (2)式, …, のように呼ぶ。
- 3-6 図および写真の数は最小限に止め特に図と表との重複をさけ何れか一方とする。
- 3-7 図(写真も含めて)および表は1つずつ別 紙とする。図はトレーシングペーパーに丁寧 に墨入れし、そのまま原図として使える状態 にしたものとする。写真は、原則として白黒 プリントとします。カラーの場合は実費を徴収します。
- 3-8 図および表には図1または表1…のように 番号を付す。ただし、説明文を含めて英文と して別紙に一括して示すものとする。
- 3-9 原稿用紙の右欄外に Fig. 1 (又は Table 1) …のように記入して掲載箇所を指定する。
- 3-10 文献引用は通し番号により本文末尾に「参考文献」なる見出しのもとにまとめ次の例に準じ、著者氏名、雑誌略名、巻(年)号、頁を記入する。

(例)

- 1) A.A. Griffith, Phil. Trans. Roy. Soc., **221** (1920), 163.
- R. Hill, "The Mathematical Theory of Plasticity", Oxford University Press, Oxford, 1950.

和文の雑誌、単行本の場合もこれに準ずる。

- 3-11 ローマ字、ギリシャ文字、数字などは活字の誤りを生じやすいのでとくに明瞭にかく。イタリックの場合は赤の下線1本により、ゴシックの場合は赤の波線1本により字体を必ず指定する。ギリシャ文字は赤丸で囲み、赤字でギと書きそえる。大文字と小文字の区別しにくい文字(たとえばCなど)は区別を明示する。又上付きおよび下付きの字は赤でその旨指定する。
- 3-12 原稿のほか、そのフロッピーデスク (機種 及びソフト名銘記)、又は CD-ROM を送付 すること。

#### 4. 受理および校閲

- 4-1 投稿された研究論文および研究速報の受理 日は原稿が本会に到着した日とする。
- 4-2 研究論文および研究速報は本会編集委員会 の査読校閲をへた後掲載する。

#### 5. 別刷の注文

掲載可となった場合には、別刷は最低 50 部購入して下さい。それ以上をご希望の場合には、50 部単位で有料にて必要部数を受付けます。

#### 別刷作成料

頁数	50部 単位円	100 部
1	8,000	
2	12,000	100 部ごとに
3	18,000	1,000×頁数の割増
4	24,000	となります。
5	30,000	
6	38,000	
7	47,000	
8	56,000	
9	65,000	
10	74,000	
11	83,000	
12	92,000	

2006年1月以降掲載可となりました論文から適用となります。

#### 投稿論文原稿送付先:

〒 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01 東北大学大学院工学研究科 ナノメカニクス専攻気付 日本材料強度学会

E-mail: takei@scrj.mech.tohoku.ac.jp

Tel, Fax: 022-795-4103

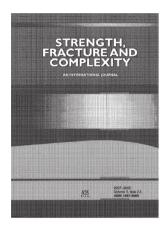
## 日本材料強度学会誌論文投稿カード

原稿番号	事	務局記入欄						
種 別 (いずれかに○) 原著論文 ・ 速報								
	原稿種類 (いずれかに○) オリジナル原稿・査読後の改訂原稿(電子ファイルを添付のこと)							
別刷り請求	別刷り請求数 部 (最低 50 部購入。それ以上の増刷は可。著者負担。詳細は投稿規定 中の表を参照のこと)					規定の		
連絡者氏名	連絡者氏名							
連絡先〒	連絡先〒							
電話	電話 – – FAX – – E-mail							
論文題目	論文題目(和文)							
論文題目(英文)								
原稿の総枚数		英文 Abstract	本文 (図の説明含)		図表の数	内訳	図	枚
枚		英語キーワード5	* 5 個		枚		写真 表	枚 枚
	和文著者名		英文著者名					

	和文著者名	英文著者名
著		
者		
名		

<sup>※</sup> 投稿に当たっては最新の投稿規定をご参照下さい。

<sup>※</sup>このカードをコピーしてご利用下さい。



# Strength, Fracture and Complexity

An international Journal

#### Aims and Scope

Fracture has been studied for many years, for instance more than 150 so far as fatigue is concerned. Even though nanostudies and computational science are rapidly developing, it and its related problems remain unsolved, such as using equations expressed in non-linear nano, meso and macroscopic terms with no ad hoc parameters including time developments.

This suggests that fracture may be an example of a complexity system and should be approached by holistic.

Strength, Fracture and Complexity: An International Journal is devoted to solving the problem of strength and fracture in a non-linear and systematic manner as a complexity system. It will welcome attempts to develop new paradigms and studies which fuse together nano, meso, microstructure, continuum and large-scale approaches. Whether theoretical or experimental, or both, these are welcome.

Presentation of knowledge-based date is also welcome, as an addition to knowledge-based accumulation. Deformation and fracture in geophysics and geotechnology are also acceptable, particularly in relation to earthquake science and engineering.

Other future problems in fracture will be accepted as additional subjects.

#### Editor-in Chief

Takeo Yokobori Director, Teikyo University Japan

#### **Honorary Editor**

Alan H. Cottrell
Department of Materials Science and Metallurgy
University of Cambridge
Pembroke Street
Cambridge, CB2 3QZ
United Kingdom

#### **Editors**

A. Carpinteri (Torino, Italy), W.W. Gerberich (Minneapolis, MN, USA), M. Jyono (Suita City, Japan), J.F. Kalthoff (Bochum, Germany), J. Lemaitre (Cachan, Frace), Y.-W. Mai (Sydney, Australia), H. Mihashi (Sendai, Japan), K. Nikibin (London, UK), S. Sakai (Tokyo, Japan), B. Wilshire (Swansea, UK), A.T. Yokobori (Sendai, Japan), K.B. Yoon (Seoul, Korea)

#### **International Advisory Editorial Board**

G.I. Barenblatt (USA), K.B. Broberg (Ireland), A.J. Carlsson (Sweden), K.C. Hwang (China), Y.A. Ossipyan (Russia), R.O. Ritchie (USA), A. Saxena (USA), K.-H. Schwalbe (Germany), G. Webster (UK).

#### **Call for Papers**

Authors are requested to submit 3 copies of their manuscript as well as a floppy disk containing the electronic files of the paper to the Editor-in-Chief. It is important that the electronic file and the hard copy submitted are identical.

#### Contents, Volume 1, Number 1

T. Yokobori - Editorial

T. Yokobori - Introduction

A.H. Cottrell - Message to the ICS'01

A.T. Yokobori, Jr., S. Sakai, K. Yamagawa, N. Yoshida - Quantitative Characterization for Fracture Surface of Full Lamellar TiAl

#### **Subscription Information**

Strength, Fracture and Complexity (ISSN 1567-2069) will be published in one volume of four issues in 2004 (Volume 2). Regular subscription price: €402/ US\$442 (including postage and handling).

Under High Temperature Creep And Fatique Conditions On the Basis of Fractal Concept

K.B. Broberg - The many scales in fracture mechanics

B. Wilshire - Knowledge Frontiers in Strength and Fracture of Complex Creep-Resistant Alloys

N. Nikbin - Relevance of meso-scale modeling of creep crack initiation and growth to component defect assessment

#### Contents, Volume 6, Number 1,2

Special Issue: Memorial Issue for Professor K.B. Broberg Guest Editors: Akira Kobayashi and A. Toshimitsu Yokobori, Jr.

*				
Order Form	☐ Please send me a	free sample copy of <i>St</i>	trength, Fracture and Complexity	
Please complete this form and send it to your usual supplier or	☐ Please note my subscription to <i>Strength, Fracture and Complexity</i> (€402/US\$442)			
to:	<ul><li>Please bill me</li></ul>			
IOS Press	Please charge my	credit card		
Nieuwe Hemweg 6B 1013 BG Amsterdam	☐ Amer. Express	☐ Euro/Master	□ Visa	
The Netherlands Tel.: + 31 20 688 3355	Card no.:		Exp. Date:	
Fax.: + 31 20 687 0039	Security Code:		•	
Email: market@iospress.nl				
URL: www.iospress.nl	Name:			
IOS Press, Inc.	Address:			
4502 Rachael Manor Drive	City/Zipcode:	Cou	intry:	
Fairfax, VA 22032, USA	E-mail:		•	
Tel.: +1 7003 323 5600 Fax.: +1 703 323 3668	Fax:			
Email: iosbooks@iospress.com URL: www.iospress.com	Date:	Sig	nature:	
Gazelle Book Services Ltd White Cross Mills	For rush orders: o	rder@iospress.nl		
Hightown				
Lancaster LA1 4XS United Kingdom				
Tel.: +44 1524 68765				
Fax.: +44 1524 63232				
Email: sales@gazellebooks.co.uk				
I				

## 会員増強運動についてのご協力ご依頼

今回会員増強運動を行うことになりました。ご知合いの方でまだ会員になっておられないお方があられましたら、何卒ご入会のご斡旋下さるようにお願い申し上げます。

本会総会講演会講演論文集や材料強度と破壊総合シンポジウム論文集は 毎回とも海外から多量の注文を受けています。また、国際会議の共催団 体となるよう海外からも依頼をうけるなど国外でも本会は高く評価され ています。今後、ますます国内外の活動を発展させる努力をしています。 なお、入会申込み書はハガキ大の随意用紙を用いて下記形式で項目を記 入し、下記宛お申し込み下さい。(入会金は不用です)。

日本材料強度入会申込書	月 日
氏 名	P
勤務先 所在地	職 名 電 話
現住所	
最終学歴	
通信先 現住所	勤務先の何れか

入会申込先: 〒 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01

東北大学大学院工学研究科 ナノメカニクス専攻気付 日本材料強度学会

E-mail: takei@scrj.mech.tohoku.ac.jp

Tel, Fax: 022-795-4103